

! 警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

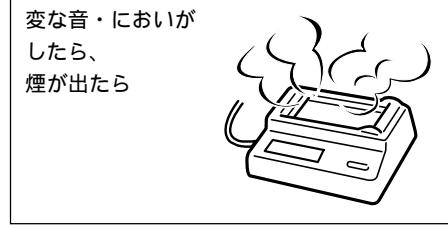
定期的に点検する

1年に1度は、本機のプラグ部に異常がないか、故障したまま使用していないか、また、プラグ部とシガレットライターソケットの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本機が破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



- ① カーバッテリーコードをシガレットライターソケットから抜く
- ② お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



! 警告

下記の注意事項を守らないと、**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、カーバッテリーコードをシガレットライターソケットから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

カーバッテリーコードを傷つけない

カーバッテリーコードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・ カーバッテリーコードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけない。加熱しない。
- ・ カーバッテリーを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

! 注意

下記の注意事項を守らないと、**けが**をしたり**周辺の家財に損害**を与えることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

ぬれた手でDCアダプター/チャージャーをさわらない

感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、カーバッテリーコードをはずす

長期間使用しないときはカーバッテリーコードをシガレットライターソケットから抜き、バッテリーをはずして保存してください。火災の原因となることがあります。

安定した場所に置く

ぐらついだ台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

カーバッテリーコードや接続コードは足に引っかけたりして引っかかると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、十分注意して接続・配置してください。

通電中のDCアダプター/チャージャー、

充電中のバッテリーや製品に長時間ぶれない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになると、低温やけどの原因となることがあります。

DCアダプター/チャージャーを布団などでおあつた状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

使用上のご注意

充電について

- ・ 専用バッテリー以外の充電には使わないでください。
- ・ バッテリーはしっかりと取り付けてください。

充電するときの温度

室温が0° ~ 40° の範囲で充電できますが、電池の性能を充分に発揮させるためには、10° ~ 30° での充電をおすすめします。また、周囲の温度が低くなるほど充電しにくくなります。

置いてはいけない場所

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。

- ・ 异常に高温になる場所
炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- ・ ダッシュボードの上など直射日光の当たる場所、熱器具の近くで变形したり、故障したりすることがあります。
- ・ 激しい振動のある場所
- ・ 強力な磁気のある場所
- ・ 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因にならばかりか、修理できなくなることもあります。

使用について

- ・ 本機は12Vまたは24Vバッテリー使用の自動車専用です。
- ・ 自動車には、マイナスアースの車とプラスアースの車があります。
- ・ 本機はマイナスアース車専用です。
- ・ 自動車のエンジンをかけたままでお使いください。エンジン停止の状態で使いますと、自動車のバッテリーが使用できなくなることがあります。
- ・ 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。
正しく録画・再生できないことがあります。
- ・ バッテリー保護のため、充電が完了しましたら、24時間以内に本機からバッテリーを取りはずしてください。
- ・ 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- ・ TVやAMラジオやチューナーの近くで使わないでください。
TVやラジオ、チューナーに雑音が入ることがあります。
- ・ コードを無理に曲げたり、上に重い物をのせたりしないでください。コードに傷がついて断線の原因になります。コードに傷がついたときは、使わないでください。
- ・ コードを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜いてください。
- ・ ご使用にならないときは、必ずカーバッテリーコードをシガレットライターソケットから抜いておいてください。
- ・ 本機や接続コードの接続部に他の金属類が触れないようにしてください。ショートすることがあります。
- ・ 使用中は本体の温度が上がりますが、異常ではありません。

お手入れについて

汚れがついたときは、柔らかい布やティッシュペーパーなどで、きれいに拭き取ってください。

本体のお手入れ

- ・ 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- ・ アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装をいためたりすることができます。
- ・ 化学そうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ・ 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装をいためたりすることができます。

万一異常や不具合が起きたときは、すぐにコードをシガレットライターソケットから抜いて、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- ・ この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お受け取りください。
- ・ 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・ 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

SONY

DCアダプター/チャージャー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DC-VQ800

Sony Corporation ©1999 Printed in Japan



DC-VQ800 (マイナスアース車専用) は次のようにお使いになれます

自動車内のシガレットライターソケットにつないで、

- ・ ソニー製リチウムイオンタイプのバッテリー“InfoLITHIUM”(MシリーズまたはLシリーズ)の充電器として使う。
- ・ “インフォリチウム”バッテリー使用時は以下の機能が働きます。
 - 急速充電
 - 充電終了までの時間表示
- ・ 付属の接続コードを使い、ソニー製ビデオカメラ等を動作させる。

- ・ ニカドタイプ、ニッケル水素タイプのバッテリーの充電には使えません。
- ・ ビデオ機器によっては使えないものもあります。

お使いになる前に、お手持ちの機器をお確かめください。

“InfoLITHIUM(インフォリチウム)”バッテリーとは

“インフォリチウム”システムに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持った新しいタイプのリチウムイオンバッテリーです。“インフォリチウム”バッテリーには

(1) InfoLITHIUMロゴ表記のある“インフォリチウム”対応機器との組み合わせをおすすめいたします。

“InfoLITHIUM(インフォリチウム)”はソニー株式会社の商標です。

使用可能時間表示についてのご注意(必ずお読みください)

本機は充電器として使用中、以下の条件を満たせば、充電中のバッテリーをお手持ちのビデオカメラで使用した場合の使用可能時間を表示します。

- ・ “インフォリチウム”バッテリーを使用している
- ・ お手持ちのビデオカメラが“インフォリチウム”対応機種である
- ・ お手持ちのバッテリーに(1) InfoLITHIUMマークが付いているかご確認ください。また、お手持ちのビデオカメラの取扱説明書で“インフォリチウム”対応機種かどうかご確認ください。

以下の機種は“インフォリチウム”対応ですが、本機の使用可能時間表示には対応しておりません。ご注意ください。

DCR-TRV7 / DCR-SC100

CCD-TR12 / CCD-TR555 / CCD-TR3300 / CCD-TRV71 / CCD-TRV91 / CCD-TRV92 /

CCD-TRV101 / CCD-TRV201 / CCD-SC55 / CCD-SC65

GV-A100 / GV-A700

複数の“インフォリチウム”対応のビデオカメラを使いの場合は、最後にバッテリーを取り付けていたビデオカメラでの使用時間を表示します。

“インフォリチウム”以外のバッテリーも使用できます

お手持ちのNP-500、NP-510、NP-710などのバッテリーも充電することができます。ただし、実用充電が終わるまで、表示窓に使用可能時間などの表示は出ません。実用充電終了までの時間はNP-500で約100分、NP-510で約110分、NP-710で約190分です。実用充電が終わると、満充電までの時間が表示されます。

この取扱説明書の裏面の「充電の状況を確認する」では、“インフォリチウム”バッテリーを使用した際の表示を説明しています。



この純正マークは、ソニー(株)のビデオ機器関連商品が純正製品であることを表すマークです。ソニー(株)のビデオ機器をお求めの際は、純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。

Sony online <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

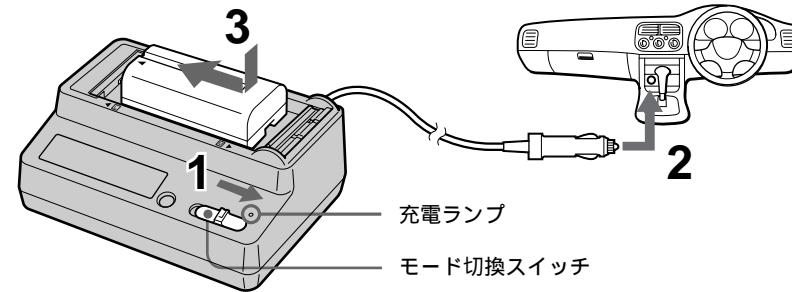
●ナビダイヤル…………… 0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でお利用いただけます)

●携帯電話・PHSでの

バッテリーを充電する

DCアダプター/チャージャーにバッテリーを取り付けて充電します。



1 モード切換スイッチを「充電」にする。

2 シガレットライターソケットにつなぐ。
「ピーッ」という音がして、表示窓が点灯します。

3 バッテリーを取り付ける。

充電が始まると、表示窓のバッテリーマークが順番に点滅し、充電ランプが点灯します。充電されるとバッテリーマークがすべて点灯します(実用充電)。さらに充電ランプが消え、バッテリーマークに「FULL」が表示されるまで充電を続けると、若干長く使えます(満充電)。

バッテリーの取り付けかた

“InfoLITHIUM”(Lシリーズ)

(NP-F550 / F750 / F950など)

① 本機の上にバッテリーを置く。

② 矢印の方向にバッテリーをスライドさせる。
端子シャッターが完全に隠れるまで押し込んでください。

バッテリーマークの点灯

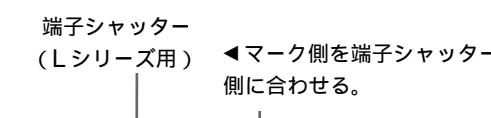
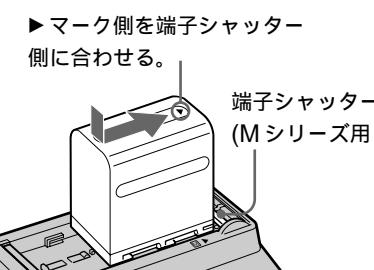


“InfoLITHIUM”(Mシリーズ)

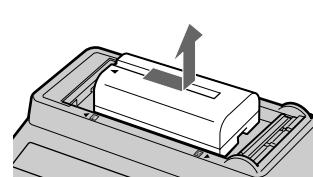
(NP-FM50 / FM70 / FM90など)

① 本機の上にバッテリーを置く。

② 矢印の方向にバッテリーをスライドさせる。
端子シャッターが完全にあがるまで押してください。



取りはずすとき
バッテリーを取り付けたときと反対の方向にスライドさせ、真上に持ち上げる。



ご注意
充電端子には衝撃を与えないでください。バッテリーを取り付けるときは、ぶつけないよう、特にご注意ください。

主なバッテリーの充電時間

“InfoLITHIUM”Lシリーズ				“InfoLITHIUM”Mシリーズ			
バッテリーパック	NP-F330	NP-CF540	NP-F550	NP-F730	NP-F750	NP-F950	NP-FM50
満充電時間 (実用充電時間)*	約100分 (約40分)	約110分 (約50分)	約115分 (約55分)	約160分 (約100分)	約170分 (約110分)	約225分 (約165分)	約105分 (約45分)

* 使い切ったバッテリーのDC-VQ800での充電時間。

・周囲の温度やバッテリーの状態によっては、上記の充電時間と異なる場合があります。

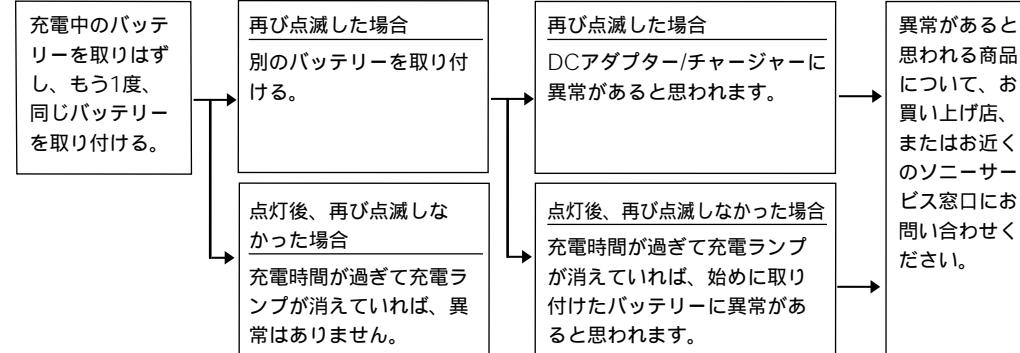
急いで使いたいとき

バッテリーは、充電が完了する前でも必要なときに取りはずして使えます。ただし、充電時間によって使いになれる時間が異なります。

ご注意

・充電中にモード切換スイッチを「ビデオ / カメラ」にすると、充電は中断されます。
・充電ランプが点灯しなかったり点滅したときは、バッテリーがしっかり取り付けられているか確認してください。しっかりと取り付けられていないと、充電されないことがあります。

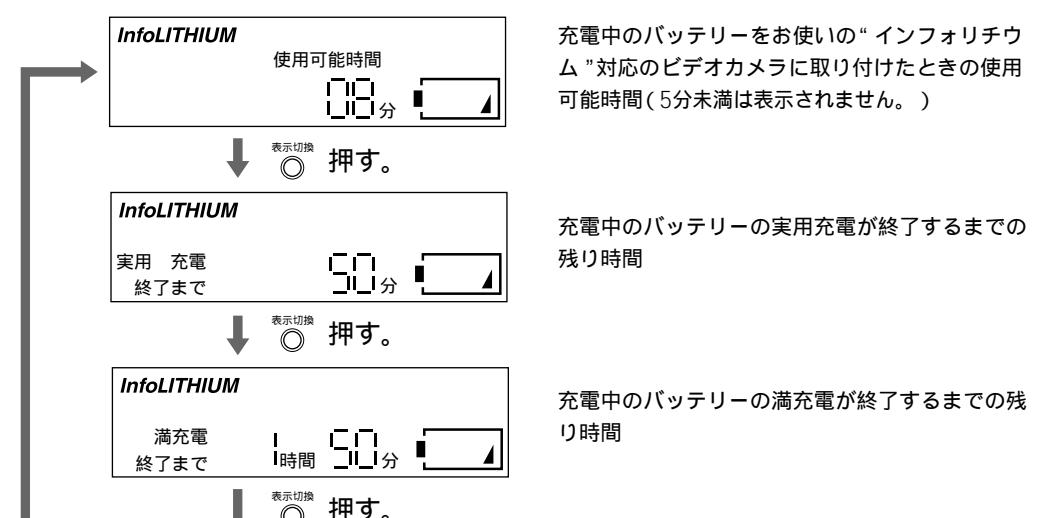
充電中に何か異常があると、充電ランプが点滅し、表示窓に「充電異常」と表示されます。次の手順で確認してください。



充電の状況を確認する

充電の状況は表示窓で確認することができます。充電を開始してからしばらくすると、表示窓に「使用可能時間」が表示されます。

充電中に表示切換ボタンを押す。
ボタンを押すたびに表示は次のように変わります。

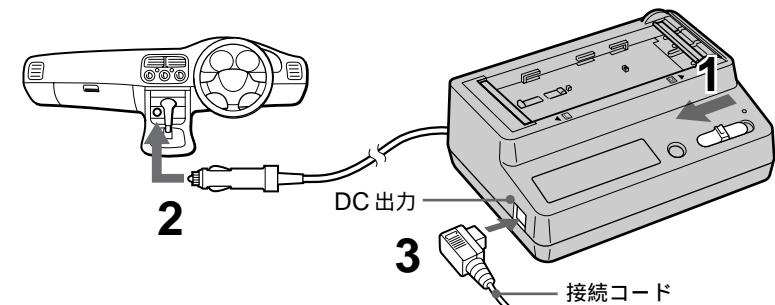


ご注意

- 新品のバッテリーで使用可能時間を表示するには、お使いのビデオカメラにバッテリーを取り付け、20秒程度ご使用ください。その後、本機に取り付け、充電を開始すると使用可能時間が表示されます。
- 表示時間は室温が10 ~ 30 度で充電したときの目安です。使用環境によって実際の時間と異なる場合があります。
- 以下のときは表示時間が「- - -」になることがありますが、故障ではありません。
 - 使用可能時間が5分以下のとき
 - 表示時間と実際の充電時間にずれが生じたとき(そのまま充電を続けてください。)
- 実用充電終了から満充電終了までは約1時間です。この間に本機からバッテリーを取りはずすと、次回充電するときの表示時間が実際とずれることがあります。
- 表示時間が実際とずれるバッテリーは、1度本機で満充電してからお使いください。より正しい時間を表示できます。
- 満充電済みのバッテリーを取り付けると「満充電まで1時間」の表示が出ることがあります、故障ではありません。
- 表示切換ボタンを押してから時間を表示するまでしばらく時間がかかることがあります。
- ご使用のビデオカメラ、またはバッテリーによっては、「使用可能時間」が表示されないことがあります。詳しくは、「使用可能時間表示についてのご注意」をお読みください。

ビデオカメラの電源として使う

ビデオカメラへのつなぎかたについては、ご使用のビデオカメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。



1 モード切換スイッチを「ビデオ / カメラ」にする。

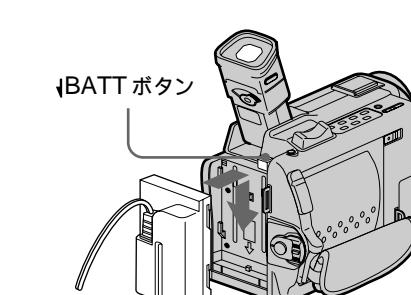
2 シガレットライターソケットにつなぐ。

3 接続コードをDC出力へつなぐ。

4 接続コードをビデオカメラへつなぐ。

接続コードDK-415をお使いのとき
(DCR-TRV9など)
接続プレートを押しながら上へずらす。

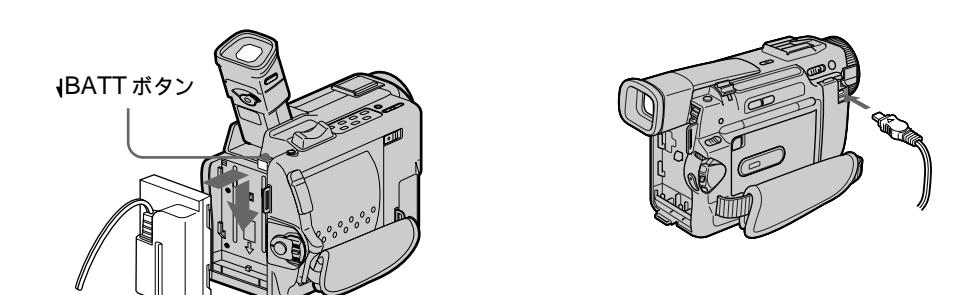
接続コードDK-215をお使いのとき
(DCR-TRV10など)
接続プレートを押しながら下へずらす。



接続プレートを取りはずすとき
↓BATTボタン

接続プレートを押しながら上へずらす。

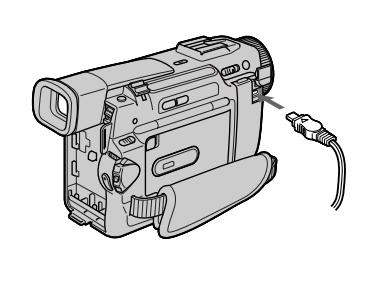
ご注意
・ビデオカメラを操作中にモード切換スイッチを「充電」にすると、ビデオカメラへの電源の供給は中断されます。
・ビデオカメラに電源を供給しながら、同時に本機に取り付けたバッテリーを充電することはできません。
・ビデオカメラの映像が乱れるときは、本機をビデオカメラから離してください。



接続プレートを取りはずすとき
↓BATTボタン

接続プレートを押しながら上へずらす。

ご注意
・ビデオカメラを操作中にモード切換スイッチを「充電」にすると、ビデオカメラへの電源の供給は中断されます。
・ビデオカメラに電源を供給しながら、同時に本機に取り付けたバッテリーを充電することはできません。
・ビデオカメラの映像が乱れるときは、本機をビデオカメラから離してください。



接続プレートを取りはずすとき
↓BATTボタン

接続プレートを押しながら下へずらす。

ご注意
・ビデオカメラを操作中にモード切換スイッチを「充電」にすると、ビデオカメラへの電源の供給は中断されます。
・ビデオカメラに電源を供給しながら、同時に本機に取り付けたバッテリーを充電することはできません。
・ビデオカメラの映像が乱れるときは、本機をビデオカメラから離してください。

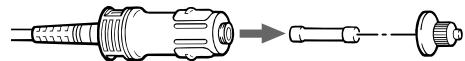
ヒューズを交換するには

カーバッテリーコードでつないだ機器が正常に動作しない場合は、プラグ内部のヒューズが切れていないかを確認してください。ヒューズが切れた場合は、市販されている同じ定格のヒューズ(▽4A 125V)をお求めになり、交換してください。

1 プラグ部分の先端を回してはずす。

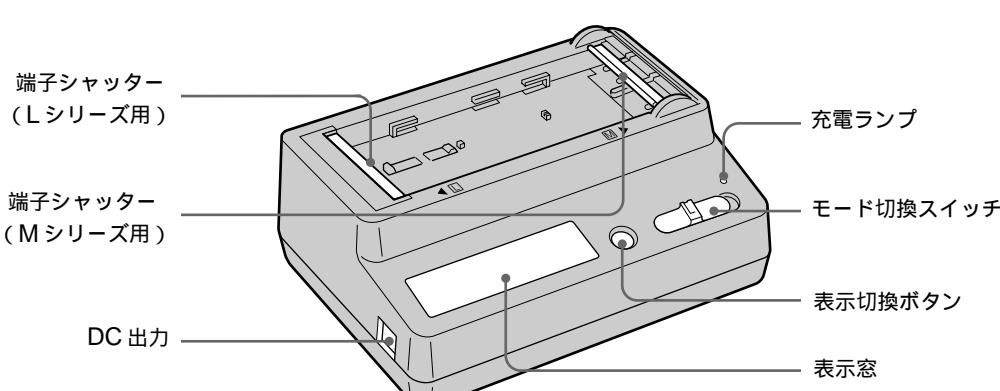


2 ヒューズを取り出す。

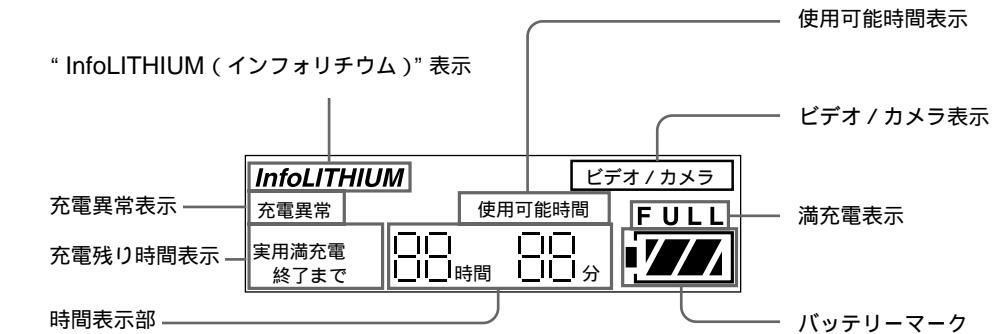


3 新しいヒューズを入れ、プラグ先端を元通りにしっかりとしめる。

各部のなまえ



表示窓の表示



主な仕様

定格入力 DC12/24V(12/24V マイナスアース車専用)

定格出力 VTR動作時 : DC8.4V、2.0A

充電時 : DC8.4V、1.4A

動作温度 0 ~ +40

保存温度 -20 ~ +60

最大外形寸法 約136×48×90mm(幅 / 高さ / 奥行き)

質量 約320g

付属品

取扱説明書(1部)

接続コード(DK-415、DK-215)(各1本)

保証書(1部)

ソニーご相談窓口のご案内(1部)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。